

主な内容

*6月定例会

本会議の質問……………2・3面
常任委員会委員長報告要旨……………3面
主な審議の結果……………4面

*委員会活動

常任委員会の動き……………4面
議員定数問題等調査特別委員会の
審査の経過及び結果……………4面
人口減少対策調査特別委員会の中間報告…4面

*その他

四国4県議会正副議長会議……………4面
パラグアイ・ブラジル・アルゼンチン
を記念訪問……………4面

*お知らせ

県議会の構成が変わりました……………4面
9月定例会開催予定ほか……………4面

こうち 県議会 だより

第110号

令和8年9月20日発行



こうち県議会だよりは定例会
(2月・6月・9月・12月)に合わせ
て年4回発行

編集・発行

高知県議会

〒780-8570 高知市丸ノ内1-2-20
TEL 088-823-9536 / FAX 088-872-8411
E-mail 210101@ken.pref.kochi.lg.jp
https://gikai.pref.kochi.lg.jp/



カウントダウンカーニバル！



どんどこ！巨大紙相撲 地区予選大会

国内最大級の文化の祭典

『よさこい高知文化祭2026』開幕間近!!



カウントダウンキャラバン！出発式

日程 10月25日～12月6日
場所 県内各地
高知県内で約250の様々な文化イベントが開催されます。

6月定例会の概要

会期 6月25日～7月10日(16日間)

開会日(6月25日)

■知事提案説明

緊急の物価高対策を講じるとともに、若者の所得向上など人口減少対策をさらに強化し、濱田知事は初めに、「県経済は堅調な個人消費を背景に緩やかな持ち直しが続いており、令和10年放送予定の大河ドラマ「ジョン万次郎」を追い風に、「ジョン万次郎のふるさと高知」を前面に出したプロモーションや観光客の受入れ環境整備を進める」と述べた上で、「一方で、中東情勢緊迫に伴う原油価格高騰や資材不足の影響が県内のあらゆる分野に及んでいる。このため、国に対して速やかな対策を求めるとともに、県独自の融資制度を創設したほか、今議会では、物価高対策を講じるための予算案を提出している。また、官公需における適切な価格転嫁の受入れは特に重要で、相談窓口の周知や契約書式の見直し、運用基準の整備に取り組み、あわせて市町村に対しても円滑な価格転嫁の受入れを促す」と述べた。

次に、人口減少対策について、「令和7年国勢調査の速報値では、県内全ての市町村で5年前よりも人口が減少し、県全体の減少率は過去最大の7%に上った。本年4月時点の総人口は、県の推計で64万人を割り込むという厳しい結果となっているが、一部には明るい兆しが見え始めている。元気な未来創造戦略」に基づき若年人口の減少を早期に食い止めるため、若者の所得向上や働き方改革の推進など一連の取組をさらに強化する」と述べた上で、「高付加価値型経済への転換」や「多様な人材が活躍できる環境の実現」に向けた取組について述べた。

また、「人口減少が全国に先駆けて進行する本県においては総人口の減少に適応しながら、必要な公共サービスを維持・確保し、持続可能な地域社会の実現を図ることが不可欠であり、全庁を挙げて、賢く縮む「4Sプロジェクト」の取組を進めている」と述べた上で、このうち消防の広域化については、「消防本部統合や新たな共同事業の進め方について、市町村の意見を丁寧聞きながら、来年度6月議会までをめどに全団体の議決を得て、来年度の法定協議会の設置、令和10年の広域連合の設立を目指す」と述べた。

続いて、目指すべき3つの高知県像である「いきいきと仕事ができる高知」、「いきいきと生活ができる高知」、「安全・安心な高知」に向けた取組について述べ、最後に今回提案した議案12件について説明しました。

一般質問(9月30日～10月6日)

■知事の政治姿勢などについて論議

8名の議員が、知事の政治姿勢や観光振興などについて質問しました。

常任委員会審査(7月6日～8日)

審査の結果、付託された議案12件のうち10件を可決し、2件を承認しました。

閉会日(7月10日)

■一般会計補正予算などを可決

知事提出議案12件のうち、令和8年度高知県一般会計補正予算については、修正案が提出されましたが、採決の結果、修正案を否決の上、原案を可決しました。その他の11件については、9件を原案どおり可決し、2件を承認しました。また、追加提出された人事議案1件に同意しました。

議員から提出された議員派遣議案1件を原案どおり可決しました。また、意見書議案8件のうち4件を原案どおり可決し、4件を否決しました。さらに、決議議案1件を否決しました。

人口減少対策調査特別委員会中間報告

人口減少対策調査特別委員会の上治堂委員長が、中間報告を行いました。

議員定数問題等調査特別委員会報告

議員定数問題等調査特別委員会(弘田兼一委員長)から報告書が提出されましたが、不承認としました。

高知県・高知市病院企業団議会議員の補欠選挙

高知県・高知市病院企業団議会議員の補欠選挙を行い、榎尾絢子議員を選出しました。



6 月定例会本会議の質問

質問者(質問順)
6月30日
上治 堂司
中根 佐知
7月1日
岡田 竜平
西森 美和
7月2日
浜口 卓也
久保 博道
上田 貢太郎
7月3日
三石 文隆



中根 佐知
(日本共産党)

県民体育館の整備過程に
おけるリスクと県民への説明

問 整備過程で起こり得るリスクをどう認識しているか。また、現時点での課題などを共有する住民説明会等を開く考えはないか。

答 知事 建設費の変動、工程の遅れ、複数施設の一体的な整備に伴う技術的な問題等が生じるリスクがあり得ると認識している。基本設計や実施設計を行う中で、事業費や工程の精査を行っていききたい。さらに、建築コンサルタントの専門的な支援も得て適切なコスト管理や工程管理に努めることに加え、施設利用者の視点も設計段階から反映したいと考えている。その上で、例えば基本設計の完了時といった節目において、進捗状況などを県民に情報開示する機会を設けたい。

不登校児童ケアにおける
介護休業制度の利用

問 制度利用の際、第三者の申立書も証明書類として認めることを検討すべきではないか。

答 総務部長 本県の制度では、医師の診断書により介護の状況を確認している。

証明書類について、民間企業の場合には第三者の申立書の提出を認めるなど柔軟な対応がされており、国家公務員の場合は、取扱いが各省庁に委ねられている。

今後、各省庁における取扱いや他県の状況を把握した上で、手続における確認方法の柔軟化について研究していく。



岡田 竜平
(県民の会)

土佐和紙の振興

問 土佐和紙は1,000年にわたり受け継がれてきた歴史ある伝統産業だが、現在、原料不足という課題を抱えている。土佐和紙の振興に向け、土佐コウゾの確保にどう取り組むのか。

答 知事 土佐和紙総合戦略の基本方針に原料づくりの項目を位置づけ、和紙生産者自身による栽培を支援するほか、地域ぐるみでの栽培体制の構築に向けた取組を進めているところだ。その結果、コウゾの使用量が回復し、成果が現れつつある。

今年度は、市町村や和紙生産者の方々と、コウゾのさらなる生産に向けた協議を行い、総合戦略の枠組みの下、供給体制の構築に向けた取組をさらに進めていく。

小規模林業者による
作業道開設への支援

問 国の「森林・林業基本計画」において、小規模林業を指す自伐型林業が主要な経営体の一つとして明記された。

路網延長は林業振興の尺度となるが、小規模林業者が開設する幅員2.5メートルまでの作業道への支援について所見を聞く。

答 林業振興・環境部長 小規模林業者を原木生産における重要な担い手と考え、作業道開設や林業機械レンタルへの補助などを実施してきた。

作業道開設支援の拡充については、国の動向を注視するとともに、小規模林業者の意見を聞くなど必要な調査を実施し、検討を進める。



西森 美和
(公明党)

五台山エリアと高知市
中央卸売市場の連携

問 五台山エリアの活性化と駐車場問題の解決に向け、中央卸売市場と連携を図ることについて考えを聞く。

答 観光振興スポーツ部長 食の宝庫である中央卸売市場で、果物の競り見学などのどっぷり体験商品の造成を支援しており、観光面で連携を始めたところだ。五台山エリアの自然と歴史、市場の食といった本県観光の強みがそろっており、今後さらなる商品づくりに挑戦していきたい。

駐車場対策に関しても、観光客の多い時期の連携は選択肢の一つと考える。今後、所管する高知市に協議を持ちかけ、市場の関係者の意見も丁寧に聞きながら、二層の連携を検討する。

五台山エリアの観光振興

問 ソラミアンの整備により、五台山の観光地としての魅力がさらに高まると思うが、観光振興をどのように進めていくのか。

答 知事 ソラミアンの営業を見据え、展望台近くの駐車場拡充に取り組んでいるところだ。

加えて、五台山内での周遊性の向上や、高付加価値サービスの提供など、新しい誘客施策への挑戦が求められると考えており、関係者と知恵を出し合い取り組むことで、エリア全体の魅力やおもてなしの向上につなげたい。

民間と行政が手を携え、エリアを一体とした総合的な観光振興策を積み重ねていく。



浜口 卓也
(自由民主党)

地域未来戦略に向けた取組

問 高市内閣が強い地域経済の構築に向け推進する地域未来戦略を本県にどう生かすのか。

答 知事 国の地域未来戦略の目的は、強い地域経済の構築に向け、各地に産業クラスターを戦略的に形成することであり、これは県の産業振興計画の目指すところと軌を一にするものだ。

その枠組みのうち、知事が策定する地域産業成長プランにおいては、現在、策定作業を進めており、1次産業を核としたフードテックや防災関連産業、食品分野でのクラスター形成等を盛り込みたい。国の動きと連動した取組を進め、地域未来戦略を県の産業振興に最大限生かしていく。

県内私立大学との連携強化

問 若年人口減少対策、人材育成に向け、県内私立大学とのさらなる連携強化について見解を聞く。

答 知事 県内の私立大学の定員充足率は約7割にとどまり、今後の若年人口の減少を考えたとき、魅力を高め、入学者を確保できなければ、大学の存続自体が危ぶまれることも想定される。

産学官のフォーラムにおいて、将来を展望した議論を行うことと並行し、学生確保の取組も進めなければならないと考えている。

看護師や保育士等、エッセンシャルワーカーを志す若者が県内で学び、生き生きと仕事ができる環境の整備を進めるため、産学官一丸となつて道を切り開いていきたい。



久保 博道
(自由民主党)

四国の新幹線の実現

問 国交省において、基本計画路線の中から路線を選定し、整備手法等について調査を行うケーススタディを実施するための予算が計上された。ケーススタディへの選定をはじめとした四国の新幹線の整備に向けての決意を聞く。

答 知事 ケーススタディが予算計上されたことは、四国の新幹線実現に向けた千載一遇のチャンスだ。まずはケーススタディに採択されるよう、そしてその後の検討においても、四国の新幹線が国土強靱化や経済活性化に必要であることを継続的に訴えていく。

新幹線実現に向け、四国の政治家が一体となり、本県が他の3県をリードするくらいの強い気持ちで主体的に取り組む決意だ。

ナイトタイムエコノミー
の推進

問 夜の時間帯の観光消費、ナイトタイムエコノミーを観光振興の柱の一つとして位置づけた上で、県内各地域の取組を後押ししていくことについて所見を聞く。

答 知事 ナイトタイムエコノミーの推進は、宿泊を促し、滞在日数の増加につながることから、観光消費の拡大に大いに寄与する。

大河ドラマ「ジョン万次郎」を契機に、多くの観光客が来県するため、これまで以上に県内各地への周遊を促進したい。

ナイトタイムエコノミーの取組が県内各地域に広がるよう支援し、長期滞在による観光消費額のさらなる拡大につなげていく。



上治 堂司
(自由民主党)

スペースポートの実現

問 スペースポートの実現に向けた知事の意気込みを聞く。

答 知事 本県出身の2人の若者が高知の未来を思い、壮大な夢に挑戦している。本県におけるロケットの打ち上げ需要、適地の有無、経済波及効果などについて、専門機関の協力を得て7月から調査を開始したい。その結果も踏まえ、どのような条件が整えば実現できるのか、研究会において検討を深めたいと考えている。

本県の元氣な未来を目指す夢の実現に向け、最後まで諦めず挑戦し続ける姿勢を貫きながら、一步一步着実に歩みを進めていく。

研究会 高知県を含む8つの機関等で構成する「高知県におけるスペースポート実現可能性研究会」のこて。

所得向上推進企業等総合支援
事業費補助金の1次募集

問 若者の所得向上と働き方改革を目指すために新設された当該補助金における1次募集の横展開枠と先進枠の割合、申請内容について聞く。

答 産業振興推進部長 横展開枠が693件で34億円余り、先進枠が81件で31億円余りで、横展開枠の申請割合が件数では9割程度、申請額では5割強という状況だ。

横展開枠でいうと、デジタル化や機械設備の導入により生産性を高めようとする取組が多く、ほかにも新しい製品やサービスの開発など、事業者それぞれ経営課題を踏まえた様々な申請があった。



上田 貢太郎
(自由民主党)

ジョン万を契機とした 観光振興

問 大河ドラマ「ジョン万」の効果を最大限生かすため、県内全域で展開する博覧会でのように誘客を図るのか。

答 知事 戦略的に3つの階層に分け、第1層では、ジョン万次郎資料館等のコアとなる施設に全国から多くの観光客を呼び込む。第2層では、ジョン万次郎ゆかりの地や歴史施設と、どつぶり高知旅キャンペーンの体験プログラムを連動させ、観光客を受け入れる仕掛けを試みる。

第3層では、これまで磨き上げてきた各地域の核となる施設や食などを魅力ある観光コンテンツ群として各エリアに位置づける。各層から次の層に観光客を送り出し、中山間地域への周遊と長期滞在を図ることで、県内各地に大河ドラマの効果を広げたい。

博覧会成功に向けた 市町村支援

問 博覧会を成功させるには観光コンテンツの磨き上げや受入れ体制整備が必要だが、どのような方針で市町村の取組を支援するのか。

答 知事 ジョン万次郎ゆかりの地のある市町村には、ドラマの世界観や本物の歴史が体感できる関連施設の充実と、史跡等の環境整備への支援を検討し、大河ドラマを契機とした観光戦略を検討する市町村には、アドバイザー派遣による伴走支援を検討している。

こうした取組を人的、財政的に支援し、誘客効果を持続的な観光振興につなげる仕組みづくりを進めたい。



三石 文隆
(自由民主党)

派遣指導主事による 成果と課題

問 県教育委員会は小中学校課の指導主事を高知市教育委員会学力向上推進室へ派遣し、訪問指導を行ってきた。成果や課題をどう整理し、本年度はどのような支援を行っているか。

答 教育長 小学校では児童同士が自分の考えを磨き合う授業が行われるなど、授業改善の取組が進んだ。中学校では指導主事の助言を生かした授業改善が進み、全国学力・学習状況調査の結果にも改善傾向が見られる。

本年度は中学校の学力向上対策に重点を置き、主幹教諭を核とした、学校全体で授業改善を図る体制づくりを支援している。今後も具体的な改善策を県市で協議し、学力向上の取組を徹底する。

国旗掲揚・国歌斉唱 の未実施

問 法規性を有する学習指導要領において、入学式等における国旗掲揚と国歌斉唱の指導が明記されている。土佐中・高等学校で長年守られていない現状の受け止めと、是正に向けた姿勢と覚悟を聞く。

答 文化生活部長 幾度となく実施要請を行ってきたが、いまだに実施されないことを極めて残念に思う。今後は行政指導文書と明示した上でさらに強く実施要請を行う考えだ。引き続き、私自身が学校を訪問し、改めて学習指導要領の法規性、国旗掲揚・国歌斉唱が持つ本来の意義、生徒たちが不利益を受けている現状を粘り強く説明していく。

6月定例会 常任委員会 委員長報告 要旨

総務委員会

■産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業について

執行部から、本事業は、令和22年、2040年を見据えた「高校教育改革に関する基本方針～ネクストハイスクール構想～」の実現を目指す国の事業で、都道府県に基金を設置、改革を先導する拠点校のパイロットケースを創設し、取組・成果を域内の高校に普及するものである。国が示す3類型に基づき、高知農業高校、高知小津高校、高知東高校、高知丸の内高校の4校を拠点とする事業計画を国に申請したところ、審査の結果、理数系人材育成拠点として申請した高知小津高校の1校のみが採択された。このため不採択となった3校の計画について、内容を再検討し、国の再公募に申請する予定であると説明があった。

委員から、人的配置についても基金の対象となるのかと質問があった。

それに対し執行部からは、常勤の職員は対象外だが、会計年度任用職員については対象となると答弁があった。

別の委員から、不採択となった事業について、文部科学省から不採択の理由や点数などが示されたのかと質問があった。

それに対し執行部からは、点数は開示してもらえなかったが、どういったところに改善点があるのかということは、文部科学省から説明があったと答弁があった。

さらに別の委員から、デジタル技術のような最新技術の活用となった場合、指導する人材も重要になってくるが、その点についてどう取り組んできたのかと質問があった。

それに対し執行部からは、学校で取り組む内容について、各産業団体や高等教育機関、県の出先機関も含め、どういった協力をしていただけるのか話しに行き、協力を得られるよう一定めどが立った上で申請をしていると答弁があった。

危機管理文化厚生委員会

■消防広域化の取組状況について

執行部から、令和8年5月に開催された実務協議会における資料に基づき、移行の進め方と目標年次、県推奨案における規約等の議決スケジュール(案)、分賦金の算定に関する基本的な考え方などについて説明があった。

委員から、消防は各市町村に権限がありながら、県が広域化に踏み込むことなので、各市町村の独自性の中でどういう判断をするのか丁寧に聞き取る必要があると思う。現状と県のやりたい中身を各自治体がしっかりと議論して、参加をする、しないも含めて、そこに寄り添う形にしないと、どこかで厳しい対応をするようなことになってしまうのではないかと危機感を持っている。責任のある現場に対して、リスペクトしながら進めていかなければならないと思うと意見があった。

それに対し執行部からは、広域化の議論に当たっては、統一すべきところと、地域の独自性を残すところについて各消防本部などと個別のヒアリングを行いながら、意見を取り入れる作業を丁寧に行っており、今後もその姿勢で臨んでいきたいと答弁があった。

別の委員から、これまでも消防の広域化について、各市町村に対して説明はされてきたと思うが、より一層の説明に努めるようにと要請があった。

商工農林水産委員会

■中東情勢に伴う新たな融資制度の創設について

執行部から、中東情勢に伴う原油高や資材不足、先行きの不透明感を受け、県内商工団体や県議会会派からの金融支援強化の要望に対応するために、国の対応を待たず、四国初となる中東情勢特化型の「原油・原材料価格高騰対策緊急支援融資」を5月18日より運用を開始した。緊急の資金需要に迅速に 대응するため、事業計画の策定を不要とし迅速な融資を実現することにより、中小事業者の当面の資金繰りを支援しようとするものであると説明があった。

委員から、制度自体は時宜を得た取組である。しかしながら公費を使つての支援であることから、審査の迅速化のためとはいえ、中東情勢の影響を受けているかどうかの審査をどのように行うのかと質問があった。

それに対し執行部からは、迅速化を図る一方、審査自体を緩めるわけではない。仕入価格の値上げ通知書など、口頭だけでなく、将来的に売上が5%以上減少することを一定客観的に証明できる書類等を確認することで、金融機関や信用保証協会が適切に審査していると答弁があった。

別の委員から、四国初ということで、この融資制度については評価している。融資枠の残余状況はどうかと質問があった。

それに対し執行部からは、年間の融資枠は50億円を確保しており、現状のペースであれば十分に対応可能であると考えていると答弁があった。

産業振興土木委員会

■大河ドラマを活用した観光振興の検討の方向性について

執行部から、令和10年に県出身の中浜万次郎を主役とするNHK大河ドラマ「ジョン万」の放送が決定したことから、この追い風を最大限に生かし、観光振興につなげていくため、県全体で展開する博覧会を実施したいと考えている。博覧会を通じ、国際交流をはじめ、地産外商や移住などの人口減少対策の加速化を図ることにもつなげたいと説明があった。

委員から、土佐清水市の生家周辺の観光客の受入体制はどのような状況か、また、ジョン万次郎は県内外に幅広くゆかりの地があると思うが、県内市町村との連携状況はどうなっているのかと質問があった。

それに対し執行部からは、土佐清水市から、生家周辺の駐車場の整備を検討したいと伺っている。また、県内市町村へのアンケート調査では、32の市町村が、自由民権運動や捕鯨文化、多文化共生等のテーマで、ジョン万次郎と関連した取組を目指したいと回答しており、今後は、専門家によるアドバイスのほか、ヒアリングを通じて、具体策について検討したいと答弁があった。

常任委員会の動き

■総務委員会

7月6日、8日（6月定例会中）
付託された10件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決または承認。
意見書案4件を審査。
7月30日
出先機関等の調査事項の取りまとめ。

■商工農林水産委員会

7月6日、8日（6月定例会中）
付託された1件の議案を審査し、原案どおり可決。
意見書案1件を審査。
7月30日
出先機関等の調査事項の取りまとめ。

■危機管理文化厚生委員会

7月6日、8日（6月定例会中）
付託された2件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。
意見書案4件を審査。
7月30日
副委員長の辞任に伴い、新副委員長を互選。
出先機関等の調査事項の取りまとめ。

■産業振興土木委員会

7月6日、8日（6月定例会中）
付託された2件の議案を審査し、いずれも原案どおり可決。
意見書案2件、決議案1件を審査。
8月6日
出先機関等の調査事項の取りまとめ。

6月定例会 主な審議の結果

●可決された議案(18議案) ※同意、承認を含む

知事提出議案(13議案)

予算議案(1議案)

・令和8年度高知県一般会計補正予算

条例議案(6議案)

・職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例議案 ほか 5議案

その他議案(6議案)

・高知空港国際線ターミナルビルの指定管理者の指定に関する議案 ほか 5議案

議員提出議案(5議案)

議員派遣議案(1議案)

・議員を派遣することについて議会の決定を求める議案

意見書議案(4議案)

・軽油引取税の課税免除特例措置の堅持を求める意見書議案
・ドナーミルクの利用拡大を求める意見書議案
・住まいの安定と居住支援の抜本的強化を求める意見書議案
・中東情勢を踏まえた地域産業及び国民生活への緊急措置を求める意見書議案

●否決された議案(5議案)

議員提出議案(5議案)

意見書議案(4議案)

・核兵器禁止条約第1回再検討会議へのオブザーバー参加を求める意見書議案
・衆議院議員定数の維持を求める意見書議案
・全てのケアラーに対する包括的な支援と法的枠組みの整備を求める意見書議案
・奨学金返済負担の軽減及び金利上昇への支援強化を求める意見書議案

決議議案(1議案)

・令和8年度一般会計補正予算 新高知県民体育館整備事業に関する附帯決議議案

●否決された修正案

・令和8年度高知県一般会計補正予算に対する修正案

※各議員の賛否の状況は、
県議会のホームページでご確認いただけます。



9月25日(金) 開 会 【中継】

10月1日(木) 質疑並びに一般質問 【中継】

2日(金) ” 【中継】

6日(火) ” 【中継】

7日(水) ” 【中継】

8日(木) ” (一問一答) 【中継】

9日(金) ” (一問一答) 【中継】

13日(火) 常任委員会

14日(水) ”

15日(木) ”

16日(金) ”

20日(火) 閉 会 【中継】

※日程は変更になる場合があります。

【問い合わせ】議事課 議事記録班 088-823-9534

パラグアイ・ブラジル・アルゼンチンを記念訪問

8月19日から27日まで、明神議長、久保議員、西内議員の3名が、濱田知事とともにパラグアイ日本人移住90周年記念式典及びパラグアイ高知県人会創立50周年記念式典に出席しました。また、パラグアイ・ブラジル・アルゼンチンの各高知県人会を訪問し、移住者や二世・三世等と交流しました。



パラグアイ高知県人会創立50周年記念式典

令和8年熊本地震に関する義援金について

高知県議会議員一同は令和8年熊本地震で被災された熊本県の皆様のため、義援金50万円をお送りしました。

議員定数問題等調査特別委員会の審査の経過及び結果

県議会では、令和6年6月定例会において議員定数問題等調査特別委員会(委員10名)を設置し、総合的な調査検討を行いました。そして、調査の経過及び結論を令和8年6月定例会(閉会日)において弘田兼一委員長が報告しました。

報告書は、吾川郡選挙区及び宿毛市・大月町・三原村選挙区の定数をそれぞれ1人削減して1人とし、土佐市選挙区及び香美市選挙区の定数をそれぞれ1人増員して2人とするものでしたが、本会議で討論・採決を行った結果、賛成少数で承認されませんでした。

このため、令和9年4月の県議会議員選挙は、現行どおりの選挙区及び選挙区別議員定数で実施されることとなりました。



人口減少対策調査特別委員会の中間報告

人口減少対策調査特別委員会は、これまでに有識者からの意見聴取や県内外の現地調査等を行い、精力的に調査、検討を行ってきました。こうした活動を通じて課題などを整理し、報告書として取りまとめ、6月定例会(閉会日)において上治堂司委員長が中間報告をしました。

報告書では、企業の所得向上と魅力向上、新たな人の流れの創出と定着支援、周産期医療に携わる人材の育成、妊娠・出産・育児に関するトータルな支援に対する事業者の理解と機運醸成等を推進するよう要請しました。

また、報告書を濱田知事に手交しました。



四国4県議会正副議長会議(令和8年8月4日)

四国4県議会正副議長会議を高知市で開催し、明神議長と土居副議長が出席しました。

会議では、四国4県の正副議長が一堂に会し、震災対策関係施策の充実・強化を求める提案など、共通する重要な課題について議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。

また、可決した7項目の要望事項の実現に向け、四国4県議会が合同で関係省庁に対して要望活動を行うこととしました。



県議会の構成が変わりました

7月30日付けで、今城誠司議員が危機管理文化厚生委員会の副委員長に選任されました。